

第1部

回覧

後志利別川流域 タイムライン試行版完成式

第2部

檜山管内防災シンポジウム

平成28年8月台風第10号による出水被害(空知川、南富良野町)



流域内の関係機関連携も網羅した
全国初の流域タイムライン試行版
が完成したよ〜!

平成30年

7/26木

13:30 ▶ 17:00

会場：今金町民センター
町民ホール 地図 →



入場無料 (定員100名)

プログラム

◆ 流域タイムライン試行版完成式
(全流域版、せたな町版、今金町版)

◆ 基調講演 松尾一郎氏 東京大学大学院情報学環 客員教授
「後志利別川流域タイムラインで命を守る」

◆ パネルディスカッション
「後志利別川流域タイムラインをどのように活かすか」



災害対策車両やパネルの展示もあります

後志利別川流域タイムライン試行版完成式 + 檜山管内防災シンポジウム

道内では2年続けて台風の襲来を受け、とくに平成29年9月の台風18号では、函館開発建設部管内でも3,000人を超える住民に避難指示が発令されるなどの混乱が生じました。昨今の地球温暖化に伴い、今後も台風が強い勢力のまま北海道に直撃することが考えられます。

本シンポジウムの第1部では、せたな町と今金町の各防災行動の他、流域内の関係機関の連携も網羅した全国初の流域タイムラインとなる「後志利別川流域タイムライン試行版」の完成式を実施し、第2部の基調講演とパネルディスカッションでは、最前線で災害対応を行う後志利別川流域におけるタイムラインの活用をはじめとする減災方策を考えていきます。

タイムラインとは？
「いつ」、「誰が」、「何を
するか」に着目して、防災
行動とその実施者を時系列
で整理したものだよ～！



プログラム

第一部 流域タイムライン 試行版完成式		13:30～14:40	<ul style="list-style-type: none"> ● 開会の辞 ● 流域タイムライン試行版の報告 ● 流域タイムライン試行版の協定式 ● 閉会の辞
第二部 檜山管内 防災シンポ ジウム	基調講演	14:50～15:40	松尾一郎氏 東京大学大学院情報学環 客員教授 「後志利別川流域タイムラインで命を守る」
	パネル ディスカッション	15:50～17:00	<p>「後志利別川流域タイムラインをどのように活かすか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パネリスト： <ul style="list-style-type: none"> せたな町長 高橋貞光氏 今金町長 外崎秀人氏 北海道檜山振興局長 小林敏克氏 函館地方気象台長 宮尾孝氏 北海道開発局函館開発建設部長 菊池一雄氏 ● コーディネータ：松尾一郎氏

松尾一郎氏

これまで、東日本大震災をはじめとする数多くの災害調査に携わるとともに、国内各地でタイムラインの検討会の座長等を歴任。



東京大学大学院情報学環 客員教授
環境防災総合政策研究機構 専務理事
東京大学生産技術研究所 研究員
日本災害情報学会 理事
東京都板橋区 総合防災アドバイザー
三重県紀宝町 防災行政総合アドバイザー
洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会 アドバイザー
後志利別川流域タイムライン検討会アドバイザー

災害対策車両 (屋外展示)

排水ポンプ車



照明車



お申し込み方法

お名前、年齢、性別、ご職業を明記の上、FAXでお申し込みください。
FAX：0138-42-7114 (国土交通省北海道開発局函館開発建設部工務課)

- 本シンポジウムは、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会(建設系CPD協議会)の認定プログラムです。